

あんじょう協働 リビングラボ

～ちいさな居場所をつくらう！～

NEWS LETTER

5

2月15日、日曜日の午前、市民交流センター2階多目的ホールで「あんじょう協働リビングラボ」の5回目を開催しました。参加者は、市民と事務局スタッフを含めて20人でした。

最終回のテーマは「発表会を開こう！」。2チームから社会実験として実践した「お試し居場所」の成果報告と質疑応答を行いました。

また、活動や発表に対するコメントを記入した「評価」「改善」カードをもとに各チームが活動を振り返って今後について考えた後、最後に全員で輪になり、これまでのリビングラボを通して感じた「気づき」と「約束」を一人ずつ発表してチェックアウトしました！

DAY 5 応用編／実践トライアル③ 発表会を開こう！

1. トライアル発表会

グループ
A

チーム名「つながりラボ anjo」

- ①「みんなで作ろう！光の魔法
ペットボトルランタンで大池公園を彩ろう」
- ②「みんなで作ろう！やさしい居場所」

親子を中心とした多世代との仲間づくりの場を作ること、地域とのつながりを深めていくことをねらいとして、2つのプロジェクトを行いました。1つ目の「みんなで作ろう！光の魔法 ペットボトルランタンで大池公園を彩ろう」は、12月13日（土）の午後開催。対象を乳幼児から小学生と保護者を中心に人数を限定せず、多世代で交流することにしました。メインはペットボトルランタン作り。その他に、防災のポンチョ作り、ゲームコーナー（輪投げとモルック）、ハンドメイドアクセサリ、キッチンカーと盛りだくさん。多くの方に来ていただき、回覧板を使ったことで、地域の方、高齢の方にもふらっと来てもらえました。課題としては、搬入や設営に思いのほか時間がかかるなど、体制とスケジュール管理の見直しが必要こと、また来場者同士の交流が生まれるような工夫などがありました。

室内で落ち着いて話し合える場も…という趣旨から、2つ目の企画「みんなで作ろう！やさしい居場所」を企画・開催。1月25日（日）の午前に中部公民館で、乳幼児と保護者を対象に、節分の鬼のお面作りや子ども向け遊びコーナー、保護者向け座談会をしました。私たちのチームは、異なるキャリアを持つメンバーがそれぞれの経験を活かすアイデアを出し合い、形にする行動力があることが強み。2回目をやってみて、1回目の企画で配ったチラシを見て来てくれた方がいたり、「こういう場が今後も続いていくのか？」と言ってもらえたりして、ニーズがすごく高いことを実感。市民活動団体として登録してやっていくということになりました！



グループ
B

チーム名「キラキラチーム」

「もっとキラキラした自分を見つけよう」



1月11日（日）の午後、イタリアンレストラン「トラットリア彩會」で「キラキラボード作成会」をしました。5回のミーティングと買い出しで準備を進めました。

当日は、初めに趣旨説明や、けいちゃんから先輩キラキラ経験談として『弾丸世界一周体験談』を話したあと、キラキラビジョンボードづくり。ワークシートを作ってもらい、ボードづくりの手がかりをみつけたあとに作成し、完成したキラキラボードを4人1組のテーブルごとにシェアしました。

最後に行ったアンケートでは、参加者全員に「大変満足した」と答えていただきました。「新しい出会いがあった」などの感想や、キラキラボードは雑誌などを切り取った写真や文字、シールなどを貼って作ることで、言語化が難しい方もビジュアルで作れるため、「自分の潜在的な気持ちを表しやすかった」というご意見も多くありました。

反省点としては、男性の参加者が少なかったこと。初めてのことなので効率よく進めることはできませんでしたが、それぞれの持つ力を合わせてうまくイベントができたと思います。

今後、3ヶ月後の4月、ビジョンボードを作ってみて心になにか変化があったかをシェアする会をしようと考えています。また今後も定期開催していきたいと話しています。

Q：男性限定にすると男性も参加しやすいと思います。

Q：集客の方法は？

A：チラシは作りましたが、積極的に配布せず、メンバーの人脈で集まってくれました。今回は20名限定で募集しましたが、スタッフの数からするとこのくらいの人数が運営しやすいということが分かりました。

2. グループワーク「KPT ふりかえり〜どーする？ 今後」

グループ
A

Keep (手ごたえ・継続したいこと)

- ・自分達がアイデア出し〜当日まで楽しんでできた
- ・屋外イベントでは地域の方が多数参加してもらえた
- ・母親だけでなく父親の参加もあって良かった

Problem (問題点・改善点)

- ・作業量の見積もりをもう少し細かくしておく必要がある
- ・集客で、必要な人に情報を届けるには？
- ・屋外でのイベントは季節を考慮する

Try (今後取り組みたいこと、挑戦)

- ・SNS 等配信を使った集客
- ・協働先を増やしていく (公共施設や他団体とのコラボ)
- ・夏にペットボトルランタンづくりのイベントをもう1度やってみたい
- ・畑で野菜作り・収穫体験 (自然と触れ合う経験づくり)



グループ
B

Keep (手ごたえ・継続したいこと)

- ・みんな楽しく笑顔で参加してもらえた
- ・ワークシートを利用して進めることができた
- ・公民館とは違うおしゃれな環境が提供できた

Problem (問題点・改善点)

- ・男性の反応が今一つだった
- ・集客方法、集客の予測が難しい

Try (今後取り組みたいこと、挑戦)

- ・男性限定、親子限定などの会を計画してみたい
- ・テーマ別に色々計画したい
- ・困っている人のための居場所づくりのイベントをしたい
- ・家族が揃った時にキラキラビジョンボードを作ってみたい
- ・今後シェア会を開き、未来につなげたい



3. チェックアウト「気づきと約束」

Awareness (気づいたこと、学んだこと、感じたこと)

- ・居場所って本当に必要だなと、改めて思いました。思ったこと、やりたいことは少しでも行動すれば必ず何か形になるんだなと気づきました。
- ・意見を出して、こういうふうによくしていきたいという前向きな気持ちと、それを行動に起こす大切さをすごく感じました。
- ・大きなイベントを自分たち仲間の力でやれた。その成功体験ができたことが一番学びだったし、気づきにもなりました。
- ・6人という結集力の大きさ。言葉にする大切さを感じました。
- ・グループとしての成果は出せなかったが、学び、得るものはすごくありました。やってみて、居場所づくりって難しい、大変だと肌で感じたのは良かったです。この会でいろんな方とつながれました。
- ・第1回で、笑顔で褒め、ネガティブなことを言わず否定しないと習ってから約半年間やってきて、割と自然にできるようになりました。これからも続けていきたいです。



- ・今回やってみて、町内会活動も、仕方なくやるのではなく、みんなで楽しむ雰囲気を持っていけるんじゃないかと思いました。「町内会のイベント」と銘打たずに、自然に楽しめる、町内を結びつけるようなイベントを考えたいです。
- ・活動をしてみて、信頼関係を築きながら継続していくことが必要だと感じました。仕事と趣味以外の横のつながりが初めてでき、気持ちが熱い方同士がつながっているのを目のあたりに感じ、私もそうなりたいなと思いました。
- ・キラキラボードは、家族や学校でやれるといい。居場所のない子、いつしかめっ面の爺さん…誰かとつながることは大切。キラキラボードで持続可能な家族、学校、地域コミュニティができればいい。
- ・何かやってみようという想いを何かしらの形で支援できる方法が必要だと感じました。想いの芽を伸ばしていく、いろんな方向を考えていきたいなと思いました。
- ・こんな市民と市が「味方同士」でやっていると、すごく勉強になりました。



Commitment (約束、宣言)

- ・これからも人と繋がることを大事にして、自分ができることをみんなの中でやっていけたらいい。
- ・子どもの手が離れてきたので、ママ友ではなく自分自身の友達をもっと増やし、つなげていきたいし、行動にも移したい。
- ・自分の気持ちに正直に。しんどいなとか、ネガティブなことは遠慮しがちだが、そこも含めて安心安全でやっていきたい。
- ・少しでも前に出るように、自分の言葉で話していきたいと思います。
- ・ここで辞めることなく、これからも居場所づくりを、引き続きやっていきたい。
- ・自分の知らない環境に飛び込むのは勇気があるんですが、今後も続けて、小さな一歩を続けていけたらいい。
- ・人と関わることを恐れず、自分の居場所を見つけていけるよう、行動し続けたい。
- ・皆さんにも仲間に入っていただいて、いろんなイベントを継続しながら、本当の居場所をつくっていったらいい。

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15 (土日祝日を除く)